

ゆっころ通信

社会福祉法人ゆっころ

〒301-0834

茨城県龍ケ崎市古城3204

電話:0297-85-4301

<http://yukkora.jp/>



相模原事件を考えました

社会福祉法人ゆっころ 理事長 杉江 彰

相模原事件は、7月26日の未明に相模原市の入所施設「津久井やまゆり園」で、知的障害の重度障害者らが元職員に襲われ19名が殺され、24名が重軽傷を負わされた戦後最悪の殺人事件です。しかも犯人は「障害者は、不幸をつくることしかありません」という主張で260名もの殺人予告を衆議院議長宛にし、その通りに殺人事件をおこしました。

地域活動支援センターふれんずの「きらくやま研究会」で、この事件をどう思うかメンバーから意見、疑問等を出してもらいました。

- ①「障害者だって生きる権利はあるのだ。バカにするのもいいかげんにしてほしい。」
- ②「世の中の人には精神障害についてどれくらい理解があるのか。」
- ③「健全者様の税金で障害年金や生活保護を頂いています。あまり自分を出さないようにしています。」
- ④「競争社会からの方向転換は出来ないでしょうか？」等です。

これらの意見をもとに話し合いました。

- ① については、障害者等を抹殺することが正しいかのような主張（優生思想）がまだ社会にはびこっていて、昨年も茨城県の教育委員が出産前診断を取り上げ、同様な意見を述べて問題になりました。障害者を劣等と断定するのは、きわめて短絡的な発想で、近年は「エイブルアート」等で芸術分野での活躍する人々にも注目があります。かつて糸賀一雄氏は最も障害の重い人々を「この子らを世の光に」と看破し、「発達保障」の考えにたった療育を推進しました。
- ② 精神障害の理解は、依然として進んでいません。中学校や高校の教科書で正しく扱われる日が早く来るべきです。
- ③ こういう自分を卑下したりする考えも、よくありません。誰もが税金は払っているのです。日本国憲法25条で保障された、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利は誰にでもあります。
- ④ 悲しい現実ですが、今の日本社会が、過度な競争社会になっており、その影響は大人だけでなく子どもたちにも及んでいます。

今、今回の事件の「再発防止」という目的で、「措置」入院の問題が議論になっています。「人を殺して当然」という考えを「措置入院」で治せるものではありません。今回の事件で精神障害者の地域生活が制限されるような事態になってはなりません。

就労継続支援 B 型 花農場

～流しそうめん大会に参加してきました～



今年もいなしきハートフルセンター主催 流しそ
うめん大会に参加させていただきました。メンバ
ーさん 8 名・職員 2 名で参加し、古城の家の職
員さんにもお手伝いをさせていただきました。天気
に恵まれ、灼熱の太陽が降り注ぐ過酷な販売でし
たが、持ち込んだ花苗 200 ポット、寄せ植え 5
つがすべて完売という大盛況でした。昨年は花苗
150 ポットの売上でしたのでそれを上回る結果
となりました。そのような結果になったのは、
「暑い中でも頑張って売ろう」という一致団結し
た気持ちで頑張れたからだと思います。熱中症の
危険性があったため塩飴や麦茶、うちわを用意し
たり、ハートフルセンターさんが用意してくだ
さったかき氷を食べ
たりとお互いに声を
掛け合いながら販売
を行いました。



メインの流しそうめんには交代で参加し、そうめ
んの他にみかんなど変わりタネも流れていて、箸
で掴むには長年の技が必要なほど？ちょっと難し
かったようです。それ以外にもクッキーや焼きト
ウモロコシの販売や、手工芸品を販売していたり
とお祭りのような雰囲気でもメンバーさんも汗をか
きながらとても楽しそうに過ごしていました。

このような大きなイベントに参加させていただ
くところは花農場のアピールにもなりますし、メン
バーさんがたくさんのお客様と対面できる貴重な
機会ですのでこれからも積極的に参加していきた
いと思います。

(花の販売の様子)



地域活動支援センター わかば



～なし狩りに行きました！～

N・Hさん W・Mさん

残暑厳しい 9 月 2 日の金曜日に、わかばメン
バーでかすみがうら市にある矢口農園になし狩り
に行きました。

農園に着くとお店の方が迎えてくれて、なし園
の中に案内してくれました。8 月末の台風でなし
が落ちていないか心配でしたが、食べごろで大き
ななしがたくさんありました。木になっているなし
を片手で持ち、軽く上に持ち上げると、簡単に
とれました。なしはみずみずしく、とてもおいし
かったです。

昼には、持って行ったお弁当をなし畑の中で広
げ、皆で食べました。外で食べるお弁当は格別で
した。なし狩りを終え帰る前には、自宅へお土産
のなしを買い、巨峰のソフトクリームを食べまし
た。

暑かったのでソフトクリームが冷たくてとても
おいしく感じられました。楽しく過ごせた良い
一日となりました。また来年もなし狩りに行き
たいと思いました。



グループホーム ボランペの家

～グループホーム・マリナーでの生活～ H. Mさん



マリナーの生活では食事当番が12日に1回の割合で回ってきます、主に夕食後の仕事を中心に、翌日の朝のお米研ぎや汁物の温め、使ったお鍋の洗い物などをやります。

ともだち村のお仕事も週に3日食器洗浄、畑、配送のお仕事をやっています、後は体調に合わせて出来る時に出来るお仕事をやれるようにしています。

私はグループホームで週に1回訪問看護を利用しています、健康について気になる事や苦手な事をお話しし、手伝ってくださっているのが本当に有り難いと思っています。



(厨房でのお仕事の様子)

*Hさんはアパート暮らしを目標としグループホームで生活しています、訪問看護を利用して以前より出来ることが増え目標に向けて頑張っています。(GH職員より)

地域活動支援センター ゆうあいワークイン

～備えあれば憂いなし～



ゆうあいワークインでは、定期的に避難訓練を実施しています。

毎年、9月1日の防災の日が近付くと、「今年もそろそろやりましょうか。」と計画を立てるのが例年のパターンですが、今年は、早々と6月に実施しました。

昼頃に喫煙室から出火したという設定で、軽作業中の方や休憩中の方がいる中、警報が鳴り響きました。

職員の誘導に従って速やかに避難場所に集合し、全員の安全を確認して、施設長に報告するまでに要した時間は1分40秒でした。

その後、反省や改善点について意見交換をして終了としました。

2011年の東日本大震災の時も、日ごろの避難訓練通り落ち着いて職員の誘導に従って避難できました。

後に利用者さん達で「避難訓練が役に立ったね。」と話していました。

昨年から今年にかけては、各地で洪水の被害がおきていますし、近いところでは、常総市近くの鬼怒川が氾濫してゆっころの皆さんの中にも大変な思いをされた方がいたとお聞きしましたが、ゆうあいワークインも目の前が小貝川ですから、他人ごとではありません。

普段は、白鳥が飛来したり人々がのんびりと釣り糸を垂れていたり、平和な川ですが、大雨の時には水位が上がった川を気かけながら、もしもの時の対策を話あっています。

これまでは、火災に備えた避難訓練を実施してきましたが、水害を想定した訓練もしていく必要があると感じています。



(施設近くの旧小貝川)

スペース仲間

造形の趣味

U. M さん

私はゆうあいワークインに通い始めて5～6年が経ちます。

私の趣味はいろいろあって、以前ゆっくら通信で紹介させてもらった絵画の他に造形の趣味も持っています。造形って初めて聞く方が多いと思いますが、簡単に言うと作ることです。

今私が作り上げているのは、主に仮面ライダーのマスクです。でも造形の趣味は難しく、思う通りにはできません。自分でサイズを決めて自分に合ったマスクを作ります。何日間もかけて作ります。

土台となる画用紙にパテを盛り、何回もパテで形を整えていきます。絵の場合は画用紙に描くだけですが、マスク作りの場合はそうはいきません。立体的にしなくてはならないからです。



手作りマスクです

仮面ライダーのマスクは複雑なので簡単にはいきません。それに時間をかけて作るマスクは根気が必要です。失敗しては



修正し、それを何回も繰り返して作ります。パテは盛ってから一日経たないと固くならないので、すごく時間がかかる作業です。

塗料も様々な色を混ぜ合わせ、自分がこうだっ！と思った色に仕上げていきます。

でも、これまで作った作品はちょっと雑だったので、私としては満足のいくものではありませんでした。でも、それまでの経験を生かし、その後時間をかけて作ったのが今回写真に載せた仮面ライダー旧2号のマスクです。まだ修正する点はございますが、自分ではまずまずの出来で、私自身の頭にピッタリです。絵も私自身、頑張っておりますのでもっと頑張ってよい作品を作っていきたいと思っています。

ゆっくら事業所一覧

事業所名	☎	所在地
本部	0297-85-4301	〒301-0834 龍ヶ崎市古城3204 古城の家2階
ゆうあいワークイン	0297-64-1335	〒301-0005 龍ヶ崎市川原代町2422-10
花農場	0297-64-1393	〒301-0005 龍ヶ崎市川原代町2422-11
古城の家	0297-85-4304	〒301-0834 龍ヶ崎市古城3204
ともだち村	0297-58-5201	〒300-2307 つくばみらい市板橋2147-1
ふれんず(本部)	(板橋マリーナへ)	〒300-2312 つくばみらい市神生530 きらくやま
ふれんず(板橋マリーナ)	0297-58-0466	〒300-2307 つくばみらい市板橋2147-4
ボランペの家	0297-57-0756	〒300-2307 つくばみらい市板橋2147-4
相談支援事業所マリーナ	0297-58-3670	〒300-2307 つくばみらい市板橋2147-4
わかば	029-836-8544	〒305-0861 つくば市台町 1-2-2 谷田部老人福祉センター
フレッシュグリーン	029-875-3680	〒305-0861 つくば市谷田部4701-2